

道しるべ

第3号

令和7年9月26日発行
進路指導部

同窓会総会・二十歳を祝う会

8月2日（土）、由利本荘市文化交流館カダーレにて「令和7年度同窓会総会・二十歳を祝う会」が行われ、同窓生51名、保護者16名、旧職員2名、現職員18名の計87名が参加しました。

総会に先立って、同窓生の皆さんはレクリエーションを楽しみました。今年度は、NPO法人チャレンジスポーツあきたの方々からご協力いただき、モルックに挑戦しました。久しぶりに会う仲間との会話もはずみ、ノイスショットに歓声を上げながら盛り上がりしました。

総会は、役員が中心となって進められました。議事が滞りなく行われ、昨年度の活動報告や決算報告、今年度の活動計画案や予算案について承認されました。今年度末で現役員は2年間の任期を終えますが皆さん再任され、欠員となっていた会計監査にも新たな1名が選任されました。

また、2年ぶりに盛大に開催された二十歳を祝う会には、二十歳を迎えた令和5年度の卒業生10名が参加し、同窓生や保護者、先生方から祝福していただきました。高等部時代に一緒に勉強した先生方からは、懐かしい思い出話や激励の言葉をいただきました。また、二十歳の代表挨拶では、「楽しいことばかりではないけれど、毎日頑張っている。もっと自分から仕事を見付けて働きたい。これからはもっと楽しんで生活したい。」など、二十歳としての決意もお話しされていました。

昼食会では10名の皆さんからテーブルスピーチをいただいたり、懐かしいスライドショーを見たりし、和やかな時間を過ごしました。これらの時間が、二十歳の皆さんの、そして同窓生の皆さんのエネルギーにつながっていたらうれしく思います。



実践的職業教育

本校において、将来の働く力を身に付けるために各学部で実践している職業教育を紹介します。

○小学部

小学部では、主に「自分の役割を果たす」ことをねらいとして、係活動や授業の中での役割に取り組んでいます。学年が上がると、そこに「人のために役に立つ」というねらいも加わります。自分の教室だけでなく、他教室等のごみを回収したり、合同学習の担当教師に、授業に関する連絡事項を確認してみんなに知らせたりする係活動に取り組む児童もいます。

また、1～6年生児童が、縦割りのグループで取り組む「ピカピカデー」も学校の役に立っている活動の一つです。年間11回予定されている清掃活動で、トイレや廊下、廊下の窓や玄関ホールなど、普段の清掃では取り組むことが難しい箇所を清掃します。その名のとおり「ピカピカ」にしようと、慣れない窓拭きやぞうきん掛けもみんなで協力して行い、回を重ねるごとに手際も良くなっていきます。そして何より、先生方から「きれいにしてくれてありがとう」「頑張っているね」「またお掃除してね」などの労いの言葉を掛けられることで、大きな達成感、自己有用感につながっています。

このように、だれかの役に立ち、「ありがとう」と言ってもらえることに喜びを感じ、また次への意欲につながる活動を積み重ねることで、中学部以降の学習、さらには卒業後の「働く意欲」に結びついていくことを願っています。



○中学部

中学部では、将来の社会参加を見据えた職業教育の一環として、「作業学習」に取り組んでおり、作業学習を進めるうえで大切にしている「作業学習五箇条」を設定しています。「挨拶・返事・丁寧な言葉遣いをする」「身だしなみを整える」「時間を守る」「集中して最後まで仕事をする」「素直な態度」働くために必要な基本的な態度を日々意識して取り組んでいます。これらは学習の場だけでなく、将来社会で生活していくうえでも大切な力となり、生徒たちは日々の学習を通して、その意識を少しずつ高めています。

また、生徒が「働く楽しさ」を実感できるよう、地域や校内での販売会も行っています。代表的な例として、地域の方々が多く訪れる、「道の駅さかた」や「道の駅おうち」での販売会がありました。自分たちが心を込めて作った製品をお客さまに購入していただくことは生徒にとって大きな喜びです。お客様から「ありがとう」「上手にできているね」などと言葉を掛けていただいたり、「また買いたい」と言っていたりすることは大きな自信につながり、意欲の向上につながっています。

このような経験を積み重ねることで、生徒たちは「働く気持ち」を育み、高等部での学習へとつなげていきます。今後も、生徒が安心して挑戦し、成長を実感できる学びの場を大切にしていきたいと考えています。



陶芸班



道の駅での販売会



農園芸班

○高等部

いよいよ就労へ向けて具体的な取組が始まる高等部です。

高等部1年生では秋田県が主催する「あきたの企業魅力発見ラーニング」事業を活用し、由利本荘市・にかほ市の企業を見学します。担当者からの講話もあり、働くために必要な力、企業から求められる力があることを体験的に学びます。そして、企業見学で感じた課題意識をもって日々の授業で実践し、校内・現場実習につなげていきます。自己理解・自己管理能力を育み、自分の職業適性や余暇の過ごし方などを考えていきます。こうした意識は日々の作業学習等の取組へとつながります。

週2日、一日を通して取り組む作業学習では、班ごとに特色があります。「事務・デザイン班」では福祉エリアの売店や道の駅に各作業班の作業製品を納品し、販売数や売り上げを計算・管理しています。「食品加工班」は食材を仕入れている農園を訪問し、自分たちの加工した製品が地域に根ざしていることを実感することでやりがいを感じています。また、生徒が仲間と相談や試作をしながら新商品を考え、地域企業とコラボすることで職業観や仕事の手順を学んでいます。「ビルクリーニング班」は校内での清掃作業を生かして、地域の高校や自動車販売会社、製造会社といった場所で外部清掃に取り組んでいます。校外で実践することは生徒にとって大きな達成感と喜びが感じられる時間となります。陶芸班はそばちょこを納品し、そのまま店内で自分たちが作った器でそばを頂いたり、木工班は由利本荘市の「ふるさと納税返礼品」に選ばれたり、自分たちの取組が、地域とつながっていることを体験し、働くことへの自信や喜びにつながっています。

社会に出る際は目標や希望だけでなく、不安を感じることもありますが、自分の実践が社会に役立っていたという体験が、大きな自信となるよう取組を進めています。



事務・デザイン班
～作業製品の納品～



高等部1年生校内実習
～ゴミ袋の氏名書き～



食品加工班
～いとうブルーベリー園
での収穫～